

2018年度 日本写真学会年次大会と特別企画の案内

日本写真学会年次大会

期日：2018年6月20日(水)～6月21日(木)

会場：千葉大学 西千葉キャンパス けやき会館

URL: <http://www.chiba-u.ac.jp/access/nishichiba/index.html>

特別企画

6/20(水) 14:30~15:20 17:20~18:10

会場：千葉大学 西千葉キャンパス けやき会館 3階レセプションホール

特別講演

6/20(水) 14:30~15:20

『国語科で育むリテラシーと写真の語り』

松山 雅子 (大阪教育大学)

講師紹介：松山 雅子 (まつやま まさこ) 大阪教育大学教育学部 教授

研究分野：教科教育学，教科教育，キーワード：動画，リテラシー，メディア・リテラシー，文化的アプローチ，テレビ・アニメーション，自己認識，国語科メディア学習プログラム，教員教育，イギリス国語科教育，メディア，アニメのゲーム化による物語構造と受容反応の分析に基づくリテラシー教授の実証的研究，現在メディア文化における子どもの物語受容メディア文化，児童，物語受容など。自己認識としてのメディア・リテラシー，文化的アプローチによる 国語科メディア学習プログラムの開発の第一人者。

パネルディスカッション

6/20(水) 17:20~18:10

『デジタルの世界で活躍するプロ写真家のワークフロー』 茂手木 秀行，大和田 良，清水 哲朗

パネラー紹介

茂手木 秀行 (もてぎ ひでゆき)：1962年東京都大田区生まれ。日本大学芸術学部写真学科を卒業後，1986年，マガジンハウス入社。以来24年間フォトグラファーとして雑誌「クロワッサン」，「ターザン」，「ポパイ」，「ブルータス」を経て2010年フリーランスとなる。1990年頃よりデジタル加工を始め，1997年頃からは撮影もデジタル化し，編集・デザイン・印刷現場との折衝・調整業務を経験。ポストプロダクションから「撮影」を見るという視点も持つ。

大和田 良 (おおわだ りょう) 1978年仙台市生まれ。東京工芸大学芸術学部写真学科卒業，同大学院芸術学研究科メディアアート専攻修了。2005年スイスエリゼ美術館による「ReGeneration.50 Photographers of Tomorrow」に選出され以降国内外で作品を発表。

清水 哲朗 (しみず てつろう) 1975年横浜市生まれ。日本写真芸術専門学校卒業後，写真家・竹内敏信事務所入社。23歳でフリーランスとして独立。独自の視点で自然風景からスナップ，ドキュメントまで幅広く撮影。2007年にはNHK教育テレビ『趣味悠々』デジタル一眼レフ風景撮影術入門 講師として出演。2005年『路上少年』で第1回名取洋之助写真賞受賞，2013年「日経ナショナル ジオグラフィック写真賞 2013年」など受賞歴多数。

一般講演・受賞講演、インタラクティブセッション

6/20(水) 9:45～

6/21(木) 10:00～

受賞講演&一般講演 A会場 13件 6/20(水) 9:50~18:10 3階 レセプションホール

B会場 19件 6/20(水) 9:45~18:10 3階 会議室 4

インタラクティブセッション 28件

ショートプレゼンテーション 6/21(木) 10:00~11:37 1階 大ホール

ポスター発表 6/21(木) 13:00~16:00 3階 レセプションホール